

室内環境学会会長就任（再任）にあたって

国立環境研究所

小野 雅 司

会長挨拶に先立ち、このたびの東北地方、関東地方を襲った巨大地震と大津波で被災された方々、さらには福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされている方々に、学会員を代表して心よりお見舞いを申し上げます。併せて、地震・津波からの復興と原子力発電所事故の一刻も早い収束をお祈り申し上げます。

昨年秋の会長選挙で会員の皆様方の信任をいただき、室内環境学会会長の二期目を勤めさせていただくことになりました。2年前の会長就任挨拶で、①室内環境学会の運営体制、②委員会活動の活性化、③学会標準の推進、④学会員との情報交換、について抱負を述べさせていただきました。過去2年間を振り返って評価するとともに、今後の活動方針について紹介させていただきます。

1. 室内環境学会の運営体制

前期からスタートした運営体制（会長、副会長を中心とする役員会主導の運営）はスムーズに動き出したのではないかと考えています。定期的開催される役員会で様々なことを決定し、行動に移してきました。それらは総会前に開催される評議員会へ諮って、議論していただきました。年1回の開催で、評議員の方々の意見を十分に反映することが出来たかどうかわかりませんが、今後とも役員会での審議内容については、速やかに学会ホームページを通して発信していくことで、評議員だけでなく会員の方々からも意見をいただき、学会運営へ反映させていきたいと考えています。

2. 委員会等の活性化

整理・統合した委員会活動について会員の方々はどのように評価されるでしょうか。私としても、すべての委員会が十分にその目標を達成出来た、とするまでには至らなかったのではないかと反省しています。業務内容の不明確なもの、複数委員会間での連携の不十分なもの、などいくつか見直すべき点があると考えています。新年度開始にあたって各委員会の所掌、業務内容を整理し、今後2年間活動していくこととしています。会員の皆様の積極的なご意見、参加を期待します。

3. 学会標準の推進

標準化委員会では空気清浄機（カビ）評価法の学会標準法（案）を策定し、パブリックコメントを経て、学会標準策定へと手続きを進めています。今後、学会標準として公表されることになり、商標管理委員会の監督のもと、標準法の運用を担う商標会員の募集が始まることとなります。学会が策定した試験法が業界標準として活用されることを期待しています。空気清浄機（カビ）評価法を第一弾として、さらなる学会標準法の制定を図っていききたいと考えています。会員の方々からのご提案を期待します。

4. 学会員との情報交換

繰り返しになりますが、学会員あるいは学会員の代表である評議員から直接意見をいただく機会は年1回に

限られています。昨年度の総会，評議員会でも貴重なご意見をいただいておりますが，学会ホームページ，学会ニュース等でお伝えする役員会からの案内に対しましても，皆様方からの積極的なご意見をお待ちしています。そのためにも，ホームページのより一層の充実を図っていきたいと考えています。

東北・関東大震災からの復興・再建へ向けての動きがこれから本格化していくと思われます。地震・津波で倒壊した建物，住宅の再建にあたっては，家屋内の粉塵等による空気汚染や周辺環境の汚染が大きな障害になることが予想されます。室内環境学会としても，全会員の総力をあげて，被災地住民の生活再建に役立つ提言をしていくことが重要と考えます。また，原子力発電所事故による供給電力の低下に備えた計画停電も議論されています。一層の節電が求められる中で，学会としては，夏季の暑熱対策だけでなく，賢い生活スタイルについてもさらなる議論を進める必要があると思ひます。全会員の活動に期待します。

最後になりましたが，被災地にお住まいあるいは職場を持つ室内環境学会会員の方々にお見舞いを申し上げます。大変な状況であると思ひますが，ご自身，ご家族の生活の再建と併せて，被災地の復興・再建へ向けての学会活動におきましても一層のご活躍を期待しています。

